



公益社団法人 自動車技術会 関西支部

関西支部
学自研ニュース
2026 年度 第一号

関西支部 学生自動車研究会 学生委員会 発行

2026 年度 第一号 学自研ニュースレター発行にあたっての挨拶

関西支部学生自動車研究会運営委員長

岡山大学 酒井 碧大

2026 年度の関西支部学生自動車研究会運営委員長を務める酒井碧大と申します。はじめに、本年度も第 1 号学自研ニュースレターを無事に発行することができました。これも、関西支部事務局の皆様や参与の先生方、企業の皆様のご理解・ご協力の賜物と深く御礼申し上げます。

関西支部学生自動車研究会（以下、学自研）は学生主体の組織であり、各大学の代表者から成り立つ運営委員会を中心として活動しています。また、委員会の学生を通じて様々な大学の学生がイベントに参加し、学生同士の交流や自動車に関する知識・興味を深める場でもあります。本年度も、工場見学会やキッズエンジニア、自動車工学勉強会・試乗会、卒業研究発表会などの活動を通じて、自動車に関する知識や興味を深めるとともに、大学の垣根を越えた学生同士の交流を深めていきたいと考えております。学自研を知っている人は勿論、これまで知らなかった人にもイベントに参加いただければ幸いです。

ここからは学自研の 2026 年度活動内容を紹介します。学自研では、関西・中国・四国の学生に向けて自動車技術会関西支部が主催する工場見学会や試乗会などのイベントに相乗りの形を取り告知や参加勧誘、卒業研究発表会を企画・実施しています。工場見学会では、実際の開発や製造といったものづくりの現場の見学や社員様からの貴重な講演会があります。本年度は 7 月 25 日にキッズエンジニアという小学生向け科学教室が開催され、学生が指導スタッフとして参加しました。また、第 1 回工場見学をはじめ、自動車工学勉強会・試乗会などの活動についても実施に向けて準備を進めています。2 月に開催を予定している卒業研究発表会では、自動車技術会に所属する学部 4 年生の皆様に卒業研究の成果を発表する機会を設けております。2025 年度は 56 件の発表があり、学生や先生方の活発な議論が行われました。キッズエンジニアについての詳細は、次頁以降に記事がございますので目を通していただければと存じます。

最後に、イベントに関わるにあたり、多大なご協力をいただいております各方面の方々に心より感謝の意を表します。今後とも学自研が更なる発展を遂げられますよう全力で取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

社会貢献活動「キッズエンジニア」参加報告

大阪公立大学 中尾 天斗

滋賀県立大学 澤田 晴気



図 風船ロケットを飛ばしている様子

2026 年 7 月 25 日，大阪市立中央会館にて自動車技術会関西支部主催の小学生向けの科学教室「キッズエンジニア」が開催されました．学自研委員の代表や学自研委員経由で申し込みがあった大学生が指導スタッフとして参加しました．キッズエンジニアは 2 種類の科学教室があり，小学 1～3 年生を対象とした「風船ロケットを作って実験しよう」と小学 4～6 年生を対象とした「クルマ型ロボットを使ったプログラミング教室」が開催されました．夏休みでの開催ということもあり，たくさんの小学生と保護者の皆様にご参加いただきました．

「風船ロケットを作って実験しよう」の企画では，空気抵抗に着目しました．まず，風を受ける面積が小さいほど空気抵抗を受けにくくなることを小学生に体験してもらったうえで，おもりや翼を自由に配置して風船ロケットを製作してもらいました．その際，指導スタッフは製作の補助やアドバイスをを行いました．最初はまっすぐ飛ばすこともままならず，なかなか飛距離を出せずにいる子どもが大半でした．しかし，少しずつ改良を試みるうちに，おもりや翼の位置・形状がどのように影響するのかを理解していきました．初めは自由な発想で作られていた風船ロケットも，試行錯誤を重ねることでまっすぐ飛ぶようになり，飛距離がどんどん伸びていきました．最終的に一番飛距離が出た風船ロケットは，計測可能領域の端にある壁に到達するほどで，私たちスタッフも大いに驚かされました．

「クルマ型ロボットを使ったプログラミング教室」はマツダ様にご担当いただきました．内容は，小学校でもよく使われるようなプログラミングソフトでクルマ型ロボットの動きを制御し，所定の位置まで動かしたり，壁に当たらないように停止させたりしました．小学生は，目標を達成するために必要なプログラムを試行錯誤しながら考え，そこに自分がやりたいことを付け加えていくことで，小学生たち独自の動き方をするロボットが次々と生まれました．その中で，指導スタッフは，困っている小学生の所へ向かい，一緒に解決するための案を考えました．壁にぶつかる前に停止するプログラムを考える時間では，止まってから音を鳴らすものや，鮮やかに光るものなどがあり，小学生たちが楽しそうにプログラミングをしている姿が見られました．

私たち指導スタッフは，いかに小学生の製作補助について本人たちの主体性や安全面に気をつけて，分かりやすく助言をしていくかということを心がけました．私たちは小学生の驚異的な成長も実感し，指導スタッフとしてのやりがいを感じることができました．また，小学生の主体性を意識しつつ，答えをあまり言わずに助言することの難しさを知ること，人を指導することがどれだけ大変なのかを知ることができました．この経験を今後の学生生活に活かしていきたいです．

最後となりましたが，このような貴重な機会を与えてくださった，自動車技術会関西支部の皆様には厚く御礼を申し上げます．

あとがき 学自研ニュースレター発行にあたって

このニュースレターの作成・発行にあたり、ご協力していただきました企業の方々、各大学の先生方、学生の皆様にこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

2026 年度のこれまでの活動は前頁までのご報告通りですが、下半期も下表のとおりイベントの開催・参加を予定しております。学自研のイベントを通じて、皆様に自動車の魅力を感じていただき、学校の講義ではなかなか得られない経験が出来れば幸いです。

末筆となりましたが、学自研の活動にご協力していただきました皆様方に心より御礼申し上げます。

(編集委員 滋賀県立大学 澤田晴気)

開催日時	イベント名	会場
11 月 3 日	自動車工学勉強会	ダイハツ年金基金会館
11 月 28 日	試乗会	ダイハツ滋賀テストコース
2 月 20 日	卒業研究発表会	近畿大学東大阪キャンパス

2026 年度学生委員の紹介

2026 年度学自研運営委員を紹介いたします。有意義な研究会となるよう全員で取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

委員長	岡山大学	酒井 碧大	委 員	大阪大学	福田 晃生
副委員長	京都大学	中嶋 輝	委 員	同志社大学	香田 怜大
委 員	大阪公立大学	中尾 天斗	委 員	広島大学	小林 建陽
委 員	徳島大学	藤原 朗杜	委 員	近畿大学	井宮 正智
委 員	大阪工業大学	今川 裕貴	委 員	滋賀県立大学	梶田 純平
委 員	大阪産業大学	木下 卓哉	委 員	滋賀県立大学	澤田 晴気
委 員	大阪産業大学	LE CONG HAU			